

時間割コード	G2B40414	開講年度	2026					
授業題目	言語学概論 I				担当教員	長谷部 めぐみ		
英文授業名	Introduction to Linguistics I					岩井 恵利奈		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限		対象学生	全
講義室	共通教育 4 7 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	大学DP							
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	・言語学各分野および言語学関連領域の基本概念を理解できる。 ・人間の持つ言語能力について、多様な視点から説明できる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	ことばの仕組みや分析方法を学び、言語学の基礎知識を習得する。また、日常的に使われている日本語や英語などの語彙や言語表現を分析し、言語の普遍性と個別性について考察する。さらに、ことばと人間の心理的メカニズムの関係についても、多様な視点から考察する。							
(5)授業のキーワード	言語 コミュニケーション							
(6)授業計画	Week 1：イントロダクション -- 世界の言語 Week 2：普遍文法 Week 3：言語獲得 Week 4：言語と思考 Week 5：動物の言語① Week 6：動物の言語② Week 7：外国語の訛り Week 8：ことばの起源 Week 9：言語変化① Week 10：言語変化② Week 11：言語の規範と使用・記述① Week 12：言語の規範と使用・記述② Week 13：言語とテクノロジー① Week 14：言語とテクノロジー② Week 15：言語とテクノロジー③ 上記の計画は予定であり、様子を見ながら変更する場合があります。							
(7)成績評価の方法	・40%：各授業回に課すミニレポート ・30%：中間レポート ・30%：期末レポート この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（12回）に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。							
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容をもとに出題したレポートの合計点が ・60%以上の場合「合格水準にある(可)」 ・70%以上の場合「合格水準よりやや上にある(良)」 ・80%以上の場合「合格水準よりかなり上にある(優)」 ・90%以上の場合「卓越している(秀)」 とみなす。							
(9)事前事後学習の内容	・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・事前事後課題は、各回の授業終了時およびeALPSにて指示をします。							
(10)履修上の注意	・この授業の達成目標に到達するためには、授業への積極的な参加と課題への意欲的な取り組みが必要である。 ・授業課題はeALPSで提出してもらいます。ノートパソコン（またはタブレット）を持参して、授業に参加してください。 ・授業の出席確認は、QRコードの読み取り（スマートフォン等持参）と授業課題の提出の両方で行います。 ・授業開始30分後以降は、欠席扱いとします。 ・遅刻3回で、1回の授業欠席とカウントします。							
(11)質問、相談への対応	メールにて質問や相談に対応する。 ・長谷部 めぐみ：hmegu3@shinshu-u.ac.jp ・岩井 恵利奈：erina@shinshu-u.ac.jp							
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外							

(12)授業への出席	(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	指定しない。
【参考書】	E.M.リッカーソン、バリー・ヒルトン編(上田功・大津智彦・加藤正治・早瀬尚子監訳). 2024.『5分間で言語学』ひつじ書房. ほか、適宜紹介する。